

令和2年度 国際交流センター 第4回海外作家講演会

「わたしはアーティスト」

—ナイジェリアで生きるアーティストとアートのありかた—

講師 | 緒方しらべ氏 (文化人類学者)



地域の教会に納めるレリーフ彫刻を制作中のアーティスト・オラインカ (2008年11月6日緒方撮影)

ナイジェリア南西部、ヨルバ民族の神話の舞台となる古都イレ・イフェで、たくさんの「アーティスト」が「アート」を制作して暮らしている。彼らと作品については、美術館や博物館、書籍や論文のなかで取り上げられることはほとんどない。経済的に成功している者も、していない者もいる。それでも彼らはアーティストと称して暮らしている。イレ・イフェにおいてアートとはどのようなものであるのか。彼らの活動や生活は、地域の人々とどのように結びついているのか——。



講師プロフィール |

2004年ロンドン大学東洋アフリカ学院(SOAS)卒業、2005年同学院修士課程修了。2014年総合研究大学院大学文化科学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。専門は文化人類学、アフリカ地域研究。現在、日本学術振興会特別研究員 RPD。著書に『アフリカ美術の人類学: ナイジェリアで生きるアーティストとアートのありかた』(清水弘文堂書、2017年/第30回日本アフリカ学会研究奨励賞(2018年度)受賞)。

日時 | 2021年1月21日(木)17:40~19:10

会場 | 美大ホール(リモート講演) ※本学学生、本学関係者以外は聴講できません。